



学校だより

# おつひ

半田市立乙川東小学校

第3号

令和5年5月25日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



## 少数派を尊重する気持ち



「自分で考え判断し行動する子」を目指し、学校生活の中で、集団でのことを子どもたち自身が考えて決めていく場面が多くあります。そのようなときに「多数決」で決めていく場面をよく目にします。しかし、この「多数決」は、ややもすると少数派を切り捨てる可能性を大きくもった危うい決め方だと常々思っていました。そして、切り捨てられる経験を多く積むと、次第に、子どもたちは自分の考えを主張することよりも多数派に所属することを判断基準にしてしまうのではないかと危惧していました。そんな心配を吹き飛ばしてくれた出来事がありました。

5年生の教室での出来事です。学習をするためのグループ編成を「気の合う子同士で自由に決める」か「くじ引きで決める」かを決めていました。そして、多数決。結果は、「気の合う子同士で自由に決める」に決まりました。ここで、黙って見ていた担任が「くじ引きで決める方がよいと思った子は、何を心配してくじ引きの方がよいと思ったのでしょうか。自由がよいと思った子は想像してみてください。」と投げかけました。すると、何人もの手が挙がり「ひとりぼっちになる子のことを心配した。」「なかなか決まらず時間がかかってしまうことを心配した。」などの意見が出されました。担任は「そういうこと？」とくじ引きを主張した子たちに返すと満足げな顔の子どもたち。そして、その後のグループ編成は、互いに声を掛け合いあつという間に決まっていきました。少数派の意見があったからこそ、誰一人嫌な思いをせずにグループ編成ができたわけです。



代表委員会での話し合いの様子

子どもたちは、少数派にちゃんと寄り添うことができるのです。その機会を与えるのが大人の役目なのだとあらためて思いました。

『できる時にできる人が子どもたちのために活動するPTA』が始動して、約1ヶ月です。交通立哨や水やりの当番の予約も順調に入っています。交通教室のお手伝いにもたくさんご協力いただきありがとうございました。6月は、プール監視のお手伝いがあります。お時間が許せばご協力ください。

# 元気に大きく育てね



1年生 アサガオの種まき

生き物や植物を育てる活動は、命を感じる大切な学習です。それぞれの学年が、理科や生活科の学習で取り組むことはもちろん、花壇コンクールに向けて、花の種まきから子どもたちが取り組んでいます。今年は、緑化委員会だけでなく、5～6年生の種まきボランティアも参加してくれました。



ジャガイモの収穫



花の種まき



5年生 メダカの飼育



2年生 夏野菜の苗を観察



3年生 ホウセンカに水やり

## 熱中症が心配です

5月というのに気温30℃を越える日がありました。暑さに慣れていない5月や湿度が高くなる6月は熱中症の心配が高まります。日傘やネッククーラーなどの対策やお茶の準備などしていただきありがとうございます。学校でも、こまめな水分補給やエアコンの利用などを進めています。そして、個人の判断を尊重しつつ、マスクを体育や放課、登下校等、戸外での活動時にははずすように声をかけています。ご家庭の事情が許されるのであれば、ご家庭でも声をかけていただきたいと思います。よろしくお願いします。



